

外部検討委員会 部会（第1回）の開催結果

大規模農場におけるICTの利用と将来の展望

○開催日：10月11日（木）

○場 所：山口県農林総合技術センター

○講 師：株式会社 穂海 代表取締役 丸田 洋 氏

○事例紹介

- ・ 今後は、担い手の減少に伴い経営の大規模化が進むため、ICT等先端技術の利用は拡大。
- ・ 穂海では、ICTによる生産管理システム導入により、効率的な栽培計画、作業計画の立案や、原因（作業）と結果（収量）の明確化に活用。
- ・ これにより、全員新規就業者である従業員15名により145ヘクタールの栽培・作業管理を実現。
- ・ 再基盤整備により、1ヘクタール以上のほ場になれば、無人トラクターやドローンの活用も検討。
- ・ ほ場形態に合わせたICTの開発・導入が必要。そのため基盤整備は不可欠。
- ・ 農業者への導入のインセンティブをいかに高められるかも普及のカギ。

○意見交換

- ・ 農林水産事務所と「拠点」が連携することで、現場ニーズの迅速な把握が可能となり、現地の課題解決に必要な試験研究が行える。現地と試験研究をつなぐ機能の強化が必要ではないか。
- ・ 瀬戸内側と中山間、それぞれの地域に合わせた、基盤整備や先端技術の導入が必要。
- ・ 生産全般に関する複合的な機能を持つソフトウェア開発が必要。